

LINE Xenesis、暗号資産分野での新規グローバルビジネス開拓に向け Crypto.comと覚書を締結

2023.07.26 ブロックチェーン関連サービス

「LINE BITMAX」における暗号資産取引の流動性向上に向けた連携など、両社の強みを活かした暗号資産ビジネスソリューション実現のために協力

LINEの暗号資産事業およびブロックチェーン関連事業を展開するLINE Xenesis株式会社は、世界中で8,000万人のユーザーを誇る暗号資産取引アプリ「Crypto.com」（クリプトドットコム）を運営するCrypto.comと、暗号資産分野において、ともにグローバルで新規ビジネスを開拓していくために、覚書を締結しました。



締結の様子（写真左より）LINE Xenesis 代表取締役社長CEO 林 仁奎（イム・インギュ）、Crypto.com 最高執行責任者 Eric Anziani（エリック・アンツィアーニ）氏

LINEグループでは、2018年4月に「LINE Blockchain Lab」を設立し、ブロックチェーン技術に応用したdAppsの開発や、P2Pネットワークによる分散システム、暗号化技術の研究を行ってまいりました。独自ブロックチェーン「LINE Blockchain」（現：Finschia）を開発し、それをベースとした独自暗号資産「LINK」（現：FINSCHIA）の発行※や、暗号資産取引サービス「LINE BITMAX」、NFT総合マーケットプレイス「LINE NFT」の運営など、グループ全体でさまざまなブロックチェーン関連の事業を展開しています。

今回覚書を締結したCrypto.comは、同社が運営する暗号資産取引アプリ「Crypto.com」において、シンガポールを拠点に2016年よりサービスを提供開始して以降、世界中で8,000万人のユーザーを有するグローバル企業です。今後両社は、暗号資産分野においてアジアを含むグローバルとともにイノベーションを起こしていくことを目指し、「LINE BITMAX」における暗号資産取引の流動性向上に向けた連携のほか、暗号資産決済機能の強化やNFT分野での連携など、両社の強みを活かした暗号資産ビジネスソリューション実現に向け協力していきます。

※第3世代のブロックチェーンメインネット「Finschia」及び暗号資産「FINSCHIA」は、現在Finschia Foundationが運営しています。

プレスリリースURL：<https://linecorp.com/ja/pr/news/ja/2023/4549>

■LINE Xenesis 代表取締役社長CEO 林 仁奎（イム・インギュ）よりコメント

「暗号資産業界の世界的リーディングカンパニーと今回協力できることを嬉しく思います。世界中で8,000万人のユーザーを誇るCrypto.comとLINEのブロックチェーン事業が融合したときにどのようなシナジーが起こるかいまから楽しみです。両社が持つ技術や知識を結集し、まずは日本市場での連携を皮切りにアジアを中心としたグローバルで新たなビジネス開拓に向け協力していきます。」

■Crypto.com 最高執行責任者 Eric Anziani（エリック・アンツィアーニ）氏よりコメント

「日本、台湾、タイ、インドネシアにおいて多くのユーザーを持つLINEの子会社であり、日本のブロックチェーン技術をリードするLINE Xenesisと協力できることを嬉しく思います。現実世界のユーティリティを有効にすることは、“暗号資産の主流化”という私たちのミッションにとってとても重要なことです。LINE Xenesisとの提携を通して、アジア太平洋諸国にわたって高度なテクノロジーに精通した両社の専門知識を活かすことで、ユーティリティを向上させていきます。」

今後も「あなたの毎日につながるBlockchain」をコンセプトに、ユーザーの日常生活に実際に適用できるNFT等のブロックチェーンサービスおよび技術の提供を目指してまいります。

■LINE Xenesis株式会社の概要

(1) 名称：LINE Xenesis株式会社

(2) 所在地：東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー22階

(3) 代表者：代表取締役社長CEO 林 仁奎/Lim Inkyu

(4) 事業内容：暗号資産販売所の運営、およびブロックチェーン関連事業のホールディングス会社

(5) 資本金：100百万円（2023年3月30日時点）

(6) 設立年月日：2018年1月31日

(7) 登録番号：暗号資産交換業者 関東財務局長 第00017号
